

代表者名	小畑 元	所管部課名	建設交通部建設交通政策課
所在地	北秋田市脇神字葉岱21番地144	設立年月日	平成7年11月16日

【沿革及び県の出資理由】

空港ターミナルビルは公共交通を担う施設であり、高い公共性が求められることから、平成7年県を主体とする地方自治体及び経済界の出資のもと、第3セクター方式の株式会社として設立された。

【出資者】(19年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	148,500	30.0
市町村	9	106,500	21.5
その他	19	240,000	48.5
計	29	495,000	100.0

【事業】

①主たる業務

1. 空港ターミナルビル及び付帯施設の賃貸業
2. 広告、宣伝業
3. 煙草、郵便切手、収入印紙等の販売
4. 損害保険代理業等役務提供業務

②事業実績

(百万円、人)

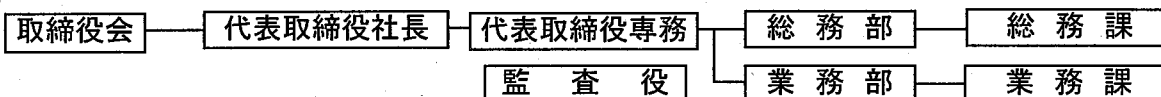
事業名等	16年度	17年度	18年度
不動産事業	228	226	226
付帯事業	21	20	17
国内線搭乗者数	160,527	157,857	142,832

③18年度事業概要及び19年度事業計画・目標

18年度は大阪便の機材小型化による旅客の減少が大きかったが、8期連続の黒字決算とした。また、修繕等も計画通り実施することができた。19年度も引き続き「にぎわいのある空港」「地域に根ざした空港ビル」を目標に運営にあたる。

【組織】

①運営機構



②役員数 (H19.7.1現在) (人)

	取締役	監査役
常勤	1	
内、県退職者	1	
内、県職員		
非常勤	7	2
内、県退職者		
内、県職員		
計	8	2
内、県関係者	1	0

③職員数 (H19.4.1現在) (人)

正職員	3	正職員 平均年齢	正職員 平均勤続年数
内、県退職者		42歳	10年
出向職員	1		
内、県職員			
臨時・嘱託	2		
内、県退職者			
計	6	正職員平均年収	6,106千円
内、県関係者	0		

役員報酬支給対象者数	1人
役員報酬支給対象者平均年齢	62歳
平均役員報酬額	6,000千円/年

【財務】

①損益状況 (18年度) (千円)

	金額
経常収入 A	243,291
受託事業収入	
補助金収入	
自主事業収入	243,200
運用益収入	91
その他	
経常支出 B	210,732
人件費	41,965
その他	168,767
経常損益 C = A - B	32,559
経常外収入	
経常外支出	600
法人税、住民税及び事業税	14,192
当期損益	17,767

②財務状況 (18年度末) (千円、%)

	金額	構成比
流動資産	131,595	10.0
固定資産	1,179,345	90.0
繰延資産		0.0
資産計	1,310,940	100.0
流動負債	87,971	6.7
短期借入金	57,352	4.4
固定負債	626,153	47.8
長期借入金	611,086	46.6
引当金等	9,924	0.8
負債計	724,048	55.2
資本金	495,000	37.8
剰余金	91,892	7.0
資本計	586,892	44.8
負債・資本計	1,310,940	100.0

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	9,924	9,924	100.0%

【県の財政支出】

	16年度	17年度	18年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費				
貸付残高	176,314	153,354	122,408	空港ターミナルビルの建設 (ふるさと融資)

1 主な経営指標

項目		単位	16年度	17年度	18年度	16-17増減	17-18増減
健全性	自己資本比率	%	38.72	41.97	44.77	3.25	2.79
	借入金依存率	%	56.35	54.22	50.99	▲ 2.14	▲ 3.23
	流動比率	%	101.01	128.09	149.59	27.08	21.50
収益性	剰余金 (▲欠損金)	千円	50,407	74,125	91,892	23,718	17,767
	経常利益率	%	15.55	15.56	13.38	0.01	▲ 2.18
	総資本利益率	%	2.75	2.82	2.48	0.07	▲ 0.34
発展性	経常収入額	千円	248,958	245,899	243,291	▲ 3,059	▲ 2,608
効率性	総資本回転率		0.18	0.18	0.19	0.00	0.00
	職員1人当たり経常収入	千円	43,297	42,765	40,549	▲ 532	▲ 2,217
	人件費比率	%	16.64	17.71	17.25	1.07	▲ 0.46

2 経営目標の達成状況

経営目標			16年度	17年度	18年度	19年度
経営改善指標	経常利益額 (単位：千円)	目標	32,500	35,000	35,000	35,000
		実績	38,718	38,263	32,559	
経営改善指標	借入残高 (単位：千円)	目標	813,800	735,104	676,424	611,086
		実績	793,784	735,104	668,438	
事業成果指標	営業収入 (単位：千円)	目標	249,000	250,000	251,000	251,000
		実績	248,957	245,898	243,291	
事業成果指標	乗降客数 (単位：人)	目標	168,000	168,000	160,000	150,000
		実績	160,527	157,857	142,832	
顧客満足度指数	目標		-	-	-	-
	実績		-	-	-	-

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

経営及び業務は順調に推移したが、機材小型化による旅客減が大きい。旅客減は直接経営とは結びつかないが、利用促進と空港ビルの活性(にぎわいのある空港)にこれまで以上に努める必要がある。

4 総合評価 (計算書類等の資料による評価)

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
・経常利益、当期利益は前期よりも減少しているが、主な要因は修繕費の増加によるものであり、安定している。 ・利用者数は平成14年度をピークに減少し続けており、地域及び空港ビルの活性化のために、需要を喚起する一層の努力が望まれる。	